

科 目 名	保育実習Ⅱ(保育所)					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	櫻 井 京 子・二 宮 貴 之・井 上 聖 子						
開 講 年 次	4	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	保育実習Ⅰにおける経験と課題をふまえ、子どもや保護者の周辺環境の理解をさらに深め、個々に応じた援助を行う力を養うものである。実践を通して各保育所の地域性や役割等を理解し、それぞれの子どもの心身の発達状況や1日の生活の流れを把握する。また、専門職としての保育士の役割や職務を理解し、自らの保育観・倫理観をさらに深め、新しい学習課題を発見する機会とする。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 保育実習Ⅱの意義・目的や実習の心得を述べることができる。 2) 年齢別保育(子どもの姿、かかわり方、遊び)や配慮・援助について説明できる。 3) 責任実習の指導案(日案)を作成することができ、その内容について説明できる。 4) 実習日誌の意義と記録方法を述べ、書く事ができる。 5) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。						
学 習 方 法	・ 保育所実習10日間						
テキスト及び 参考書等	テキスト：①保育所保育指針 解説書 厚生労働省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」「保育実習」の手引き (本学子ども学部発行) 参考図書：③保育園 幼稚園の実習 完全マニュアル 林幸範・石橋裕子編著 成美堂出版						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○	○		5	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○	○		5	
その他	○	○	◎	○		90	
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
	保育実習指導Ⅱに基づき、保育実習Ⅰを履修後、保育所実習(10日間)を展開する。実習は観察・参加や実習指導者の指導を受けて指導案を作成し、責任実習等を行う。また、実習した内容は実習日誌に詳細に記録する。実習の前後に、オリエンテーションと事後指導等を受講し、実習を充実かつ効果的なものにする。						
備 考	・ 体調管理を十分に行い、遅刻・早退・欠席をしないこと。 ・ 実習日誌、指導案等の提出期限を厳守すること。 ・ 授業外学習(事前学習・事後学習)を適宜行うこと。 ・ 学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。履修内規に反した場合は実習に参加できない。						